

法学委員会「リスク社会と法」分科会

(第 26 期 第 4 回)

議事要旨

1. 日時等

令和 7 年 1 月 13 日（月・祝）15：00～17：00      オンライン開催

2. 出席者（敬称略）

宇佐見誠、大塚直、神里達博、川嶋四郎、川和功子、佐藤義明、島村健、千葉恵美子、中山竜一、林秀弥、藤井健吉、山下竜一、米村滋人、亘理格

3. 議事概要（敬称略）

- (1) 神里達博連携会員（千葉大学大学院国際学術研究院教授）に「リスク社会と専門知」と題する報告をいただいた。これまでの「リスク社会」論の議論状況について、科学技術社会論の観点からの整理がなされ、トランスサイエンスのモデルが妥当する時代において、行政が科学者を抱えて独占的に政策決定をするのではなく、議会における科学的な議論を促進する仕組みの構築が必要であるという指摘がなされた。中山、大塚、藤井、千葉、米村、山下、亘理から質問あるいはコメントがなされ、報告者からリプライがあった。

- (2) 新たに、山下、亘理が本分科会に加わった。

- (3) 今後の予定について

意思の表明の内容と形式について、さらに検討することとされた。大塚から、環境政策・環境計画分科会と一部合同で行うことを検討してはどうかという提案がなされた。

次回は、2 月 2 日 15 時～に実施する。